

文部科学省委託事業

全国の**小学校・中学校・高等学校・特別支援学校**を対象に無料で講師を派遣します

放射線って、何だろう？

全国の学校で、放射線について学べる出前授業を開催します。

出前授業では、放射線に関する授業や実習などを行いながら、放射線の知識を習得していきます。

学校の授業（社会科や理科、技術・家庭科、総合的な学習の時間など）での放射線についての知識の習得や学校独自で行う放射線に関する授業実践のご参考などに、本出前授業をご利用下さい。

開催概要

● 対象

全国の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の児童生徒（課外活動としての実施も可能です）

● 実施期間（予定）

平成25年9月上旬から平成26年2月末日まで

※お申込み多数の場合は、規定数に達し次第、終了とさせていただきます。

● 出前授業実施までの流れ

1
お申し込み

申込書に必要事項をご記入いただき、お申し込み下さい。

2
内容確認

お電話またはメールにて、貴校に内容を確認いたします。

3
開催日・講師の決定

講師は、出前授業の経験豊かな大学教員などの放射線に関する有識者です。

4
アンケートのお願い

事前に放射線に関するアンケートのご協力をお願いします。※当日の出前授業に取り入れます。

5
出前授業の開催

1コマ(45分～60分)程度の開催が目安です。
※希望に応じて2コマでの開催も可能です。



▶ お申し込み（募集）

● 募集

規定数に達しましたので、募集を締め切りました。

多数のお申し込みありがとうございました。

お申し込み・お問い合わせ先

文部科学省委託事業 放射線に関する出前授業事務局（一般財団法人日本原子力文化振興財団）

TEL : 03-6891-1573 FAX : 03-6891-1575 メール : demae●jaero.or.jp

※ メールの場合は、「●」を「@（半角）」に置き換えてお送り下さい。

出前授業の展開例

小学校での出前授業の展開例

1. 導入

自然放射線は身のまわりにあることなどを写真や映像などを用いて知り、放射線への興味・関心を高めます。

2. 内容

放射線は測れることや、人体に影響が出ること、放射線からの身の守り方などを学びます。

3. 体験

文部科学省の簡易放射線測定器「はかるくん」を用いて、身のまわりの放射線を実際に測るなどしながら理解を深めます。



「はかるくん」での実習風景

中学校・高等学校での出前授業の展開例

1. 導入

自然放射線は身のまわりにあり、私たちの生活に深く関わっていることなどを写真や映像などを用いて知り、放射線への興味・関心を高めます。

2. 内容

中学校では、放射線の性質についてや、暮らしや産業での利用、放射線による人体への影響などについて学びます。高等学校では、さらに放射線の種類や単位について、また放射線からの身の守り方などについて学びます。

3. 体験

霧箱を用いて放射線を観察したり、文部科学省の簡易放射線測定器「はかるくん」を用いて、身のまわりの放射線を実際に測るなどしながら理解を深めます。



「霧箱」での実習風景

● 関連事業の紹介

放射線に関する教育職員セミナーの開催

教育職員等を対象に学校教育における放射線に関する知識の習得に資する内容構成のセミナーを開催し、児童生徒の放射線に関する知識の習得、思考力・判断力を育成するための環境整備を図ります。

(東京学芸大学理科教員高度支援センター内「全国放射線教育推進会議」)

簡易放射線測定器の貸出し

教育職員等、児童生徒及び学校等を対象に、学校教育の場などでの放射線等に関する教育の取組に利用でき、知識の習得が図られる簡易放射線測定器を貸出します。

(一般財団法人 大阪科学技術センター)